

図書館だより

図書館内では飲食ができません。暑くなってきましたので熱中症対策の水分はカバンにしまい、適宜館外で補給するようにしてください。

また、スマートフォン等も図書館内ではご利用できません。今一度ご注意ください。

○閉館日のお知らせ○

7/7(木)は司書出張のため午後から閉館します。返却は返却BOXまでお願いします。



『建築家になりたい君へ』

隈 研吾／著 河出書房新社 [520]

東京2020オリンピックの国立競技場や数々の名建築を手がける建築家・隈研吾さん。建築に興味を持ったきっかけから始まり、隈さんの人生を通して語られるエピソードには、これから生きるために必要なことがギュギュッと詰まっています。

○工業科の生徒に特におすすめしたい一冊です。

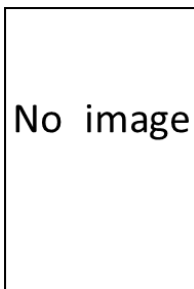
『その扉をたたく音』

瀬尾 まいこ／著 集英社 [913.6]

29歳、夢はミュージシャン。現在、無職。

ある日老人ホームの演奏会イベントに出演した宮路は、そこで人生を変える出会いを果たした――。

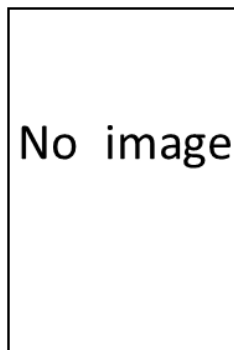
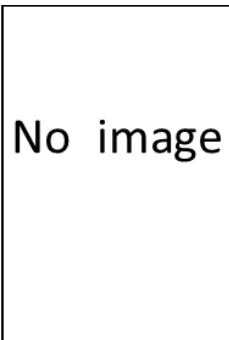
『そして、バトンは渡された』(文藝春秋//刊)の作者・瀬尾さんが紡ぐ力強く、心優しい物語。



『クジラの骨と僕らの未来』

中村 玄／著 理論社 [489]

中村さんは「鯨類学」というクジラを対象にした研究をしている。そんな著者が生き物に興味を持ったきっかけから、骨格に興味を持つに至った経緯、実際にフィールドワークにでた様子なども詳しく書かれている。作者の半生と生き物への情熱の詰まった一冊です。



pickup

『雨夜の星たち』

寺地 はるな／著 徳間書店 [913.6]

察すること・空気を読むことが苦手な主人公・三葉は、あることがきっかけで前職を辞め、貸家の家主にスカウトされた「お見舞い代行」(家族の代わりにお見舞いに行ったり、通院に連れて行ったりなど)の仕事を行っているのだが――？

○『水を縫う』(集英社//刊)もおススメ。

今月の展示

雨

まだまだ続く雨の季節。しとしと降る雨の日は、読書で憂うつを吹き飛ばそう!!

『お天気キャスターが教えるふしぎなお天気のいろいろ』

小林 正寿／著 repicbook [451]

「『春一番』ってどんな風?」、「台風はなぜいつもカーブして日本に来るの?」など、日常生活の中で感じるお天気にまつわる疑問点をお天気キャスターの小林さんがわかりやすく解説しています。

『雨上がり、君が映す空はきっと美しい』

汐見 夏衛／著 スターツ出版 [913.6]

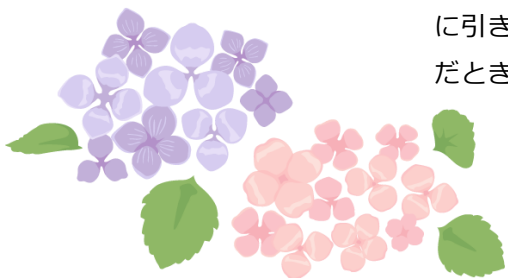
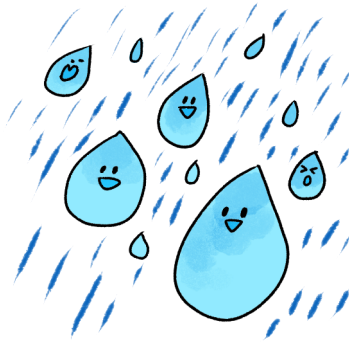
『「雨ダルさん」の本「雨の日、なんだか体調悪い」がスーッと消える』

佐藤 純／著 文響社 [498]

『雨の日には……』

相田 みつを／著 文化出版局 [728]

書家であり、詩人でもある相田みつをさんの作品集です。短い言葉の中にあるやさしさと力強さに引き付けられます。人生に迷った時、落ち込んだときに読んでみてはいかがでしょうか?



季節展示 七夕



7/7(木)は七夕です。6/20日から季節展示コーナーにて「星」や「願い」に関する書籍を展示しています。また、7/8日まで図書館内に笹の葉を設置します。願いを書きにぜひお越しください♪

『願いを叶える雑貨店 黄昏堂』5分間ノンストップショートストーリー

桐谷 直／著 PHP研究所 [913.6]

『星に願いを、そして手を。』

青羽 悠／著 集英社 [B913.6]

『スタープレイヤー』

恒川 光太郎／著 KADOKAWA [B913.6]

もしなんでも10個願いが叶うなら…

黄昏時(たそがれどき)にのみ現れるという不思議な雑貨店「黄昏堂」は、これまた不思議な商品を取り扱っている。その商品は購入者の記憶の一部と引き換えに入手することができるのだが…!?

『ハリネズミの願い』

トーン テレヘン／著 長山 さき／訳 新潮社 [949]

※数字の前のBは、文庫・新書サイズの図書です

極度の心配性なハリネズミは、いつか動物たちを自宅に招待したいと思っている。しかし心配性のあまり次から次へと悪い考えが浮かんで来て、中々行動に移すことができないのだ……。

◎「全国高等学校ビブリオバトル2016」グランドチャンプ本に選ばれた作品です。

